

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	国際交流・地域間交流の推進	コード	作成者	役職	市民協働課長
		03-04-13		氏名	眞野なぎさ
			電話	64-1823	
		このシート作成に要した時間		4.0 時間	

この施策の アピール ポイント	オーストラリア及び韓国の2都市と青少年の相互派遣交流を行い、国際感覚をもった人材の育成に努めている。
-----------------------	--

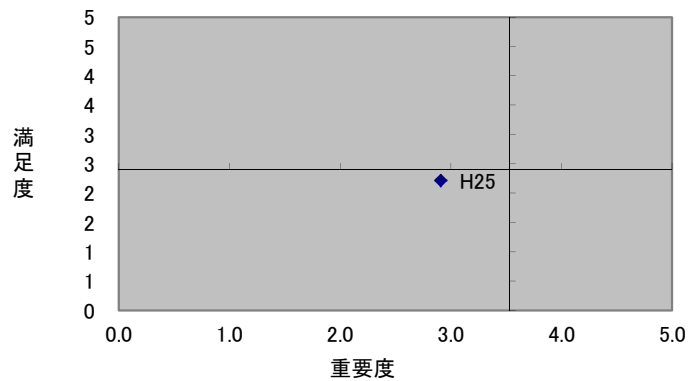
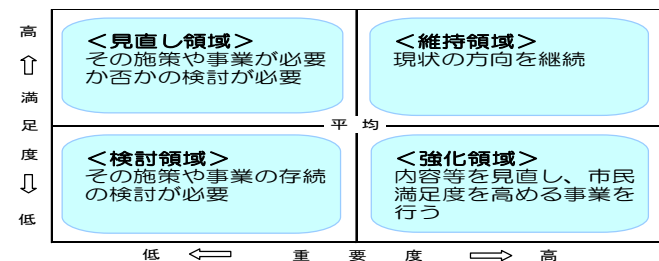
この施策の 平成25年度の 施政方針	オーストラリアのクリア&ギルバートバレー町と、また韓国の蔚山広域市東区と青少年の相互訪問による交流を続け、次代を担う多くの子どもたちの国際的感覚を養っております。 平成25年度は、オーストラリア・韓国ともに訪問団を派遣する年となっており、市内の国際交流団体を中心に事業を進めるとともに、より多くの諸外国との交流を増進させ、市民主体の交流が一層図れるよう国際交流活動の推進に努めてまいります。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	協働「コミュニティ」
	基本計画（中項目）	地域での支え合いを基本とした協働を推進するまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民一人ひとりが国際感覚を身につけ、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す。また、青少年期から国際感覚を身につけることにより、グローバルな視野を持った人材を育成する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は平成2年に、クリア&ギルバートバレー町（豪州）と姉妹縁組を、平成15年に蔚山東区文化院（韓国）と文化交流協定をそれぞれ締結し、青少年の相互派遣を中心とする交流を行い、市民の国際感覚の育成につなげています。しかし、こうした交流は当事者に限定され、一過性に終わってしまいがちなことから、継続して交流に関わってける仕組みをつくり、交流の輪を広げていく取組みが必要である。さらに相互派遣を行っている都市以外にも交流の輪を広げ、経済や文化・芸術分野への交流拡大も課題である。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の充実 国際交流団体の育成 経済、文化交流の推進 地域間交流の推進 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度				H25
重要度				2.91
満足度				2.22



調査結果に対するコメント、市民の反応等	施策全体の平均値と比較すると、重要度が低く、満足度が中位となっている。国際交流に対して消極的な地域性がうかがえる。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H23	H24	H25			
成果指標 国際交流協会が開催する国際交流事業への参加者数	目標	人	50	50	50	H26	50
	実績	人	50	44	35	H28	75
	達成率	%	100.0	88.0	70.0	H34	100
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 八塔寺国際交流ヴィラ利用者数	目標	人	850	850	850	H26	850
	実績	人	384	437	509	H28	850
	達成率	%	45.2	51.4	59.9	H34	850
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 備前市国際交流協会会員数 (個人・団体)	目標	人	100	100	110	H26	120
	実績	人	103	100	89	H28	150
	達成率	%	103.0	100.0	80.9	H34	200
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H26	
	実績					H28	
	達成率	%				H34	
	ベンチマーク					-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	A L T 事業	児童・生徒に交流の機会を設ける。
市国際交流協会	英会話講座の開催	市民が低料金で気軽に英会話を学ぶことができる。

⑧ 施策の評価

項 目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4		訪問団派遣・受け入れ事業及び国際交流事業へ多くの方に参加していただくことで国際交流の輪がひろがっていく。
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3		青少年の相互派遣事業は、国際交流の推進に適当な手段である。国際交流ヴィラ管理運営事業については、全国的にも珍しい事業であるが、岡山県内で存続しているのが2か所（市が管理）しかいないため、今後運営の方法について検討の余地はある。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3		H25年度は市国際交流協会主催の独自事業を行うことができなかった。今後、独自事業を工夫して開催することにより、より国際交流に対して興味を持ってもらうことができる。
進行年度(H26年度)の取組内容 (課題解決状況)			H26年度は、オーストラリア・韓国訪問団の受け入れの年となっているため、市国際交流協会を中心に、交流を深める。 また、市国際交流協会主導で事業を行い、市民の国際交流に対する意識の向上を図る。
翌年度(H27年度)の取組目標			H27年度は、オーストラリア・韓国を訪問する年となっているため、市内の青少年を派遣することにより、国際感覚を身につけた人材の育成を図る。また、懸案となっている蔚山広域市東区との友好交流協定を締結する。八塔寺国際交流ヴィラの施設についても、今後の改修・運営について協議し検討する。
二次評価者コメント			交流事業、国際交流協会共に参加者、会員等の拡大が必要である。そのための具体的な方策の検討を行うこと。
役職 氏名	市民生活部長 有吉 隆之		基本施策への 貢献度 3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
01 国際交流事業	韓国文化交流事業	単市	892	1,817	0.20	717	2,401	0.28	584	1,353	0.16	807	☆☆☆☆
	オーストラリア姉妹都市交流事業	単市	802	1,234	0.15	331	1,022	0.12	1,247	472	0.06	699	☆☆☆☆
	国際交流支援業務	単市	0	651	0.08	0	617	0.07	0	235	0.03	0	☆
	県南オーストラリア州友好協会会費	内部管理	10	0	0.00	10	0	0.00	10	0	0.00	10	☆☆
	県国際交流協会会費	内部管理	10	0	0.00	10	0	0.00	10	0	0.00	10	☆☆
	市国際交流協会助成金	単市	38	0	0.00	38	0	0.00	38	0	0.00	38	☆☆☆
	多文化共生事業	単市	0	79	0.01	0	0	0.00	0	0	0.00	0	* 未実施
	国際交流ヴィラ管理運営事業	単市	1,523	318	0.04	1,441	444	0.05	1,609	511	0.07	1,777	☆☆☆
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度	
			3,275	4,099	0.48	2,547	4,484	0.52	3,498	2,571	0.32	3,341	